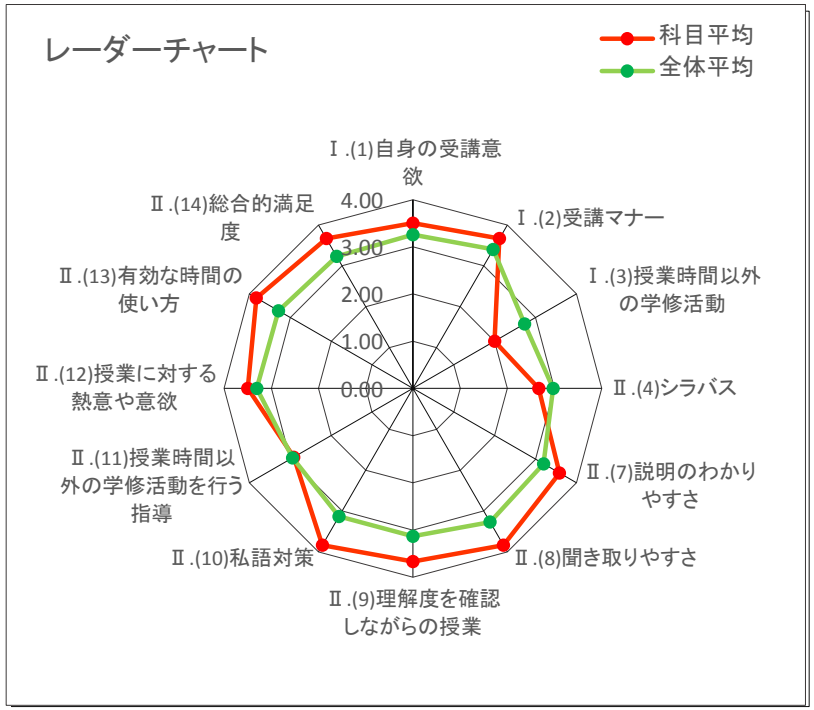
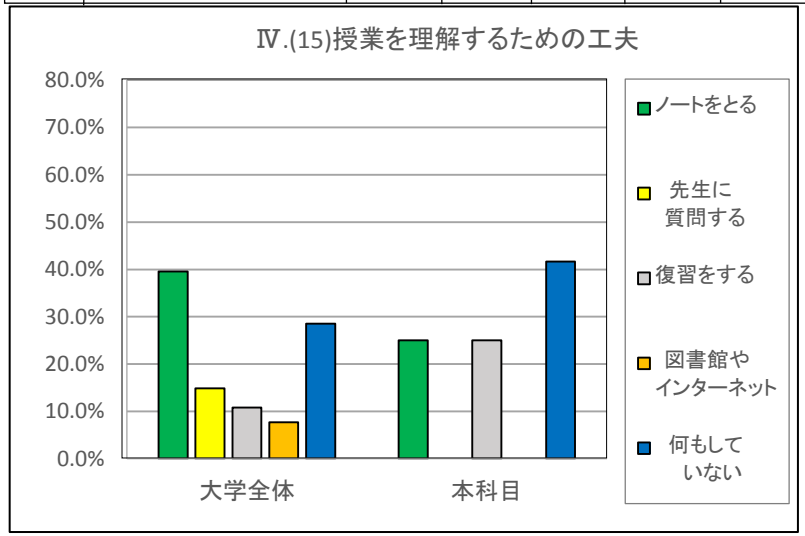
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.50	3.26
	Ⅰ.(2)	3.67	3.40
	Ⅰ.(3)	2.00	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.67	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.58	3.20
	Ⅱ.(8)	3.83	3.27
	Ⅱ.(9)	3.67	3.13
	Ⅱ.(10)	3.83	3.13
	Ⅱ.(11)	2.92	2.94
	Ⅱ.(12)	3.50	3.31
	Ⅱ.(13)	3.83	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.67	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	41.7%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.06	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.48	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.67	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	33303/33353
科目名	コーチング論
教員名	

①授業計画の達成度について

初回の授業で目的を認識させ、シラバスにある通りの授業計画で進めた。
受講生も16名と少なく目が行き届く範囲だったので、到達目標へ導けたと考える。そういうことからも目標設定、難易度は適切であったと思われる。

②授業の進め方について

毎回、授業中にプリントを配布し、それに記入させる方法で授業を進める。
試験時にはそのプリントのみを持ち込み可とするため、平素の授業をおろそかにすると後々困るように考えた。
板書の字や説明の声は明瞭にすることに努めた。また、要所要所で質問の可否を尋ねながら進めた。
それらのことが、総合満足度3.67%という数字になっていると思われる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

説明はできる限り早口にならないように、板書の字は雑にならないように努めた。理解度も確認しながら進めた。
受講生が16名と少なかったからかもしれないが、授業中の静穏な環境づくりもでき、居眠りもなく授業が出来た。次年度に向けても継続できるようにしたい。

奈良学園大学